

施設めぐり

市内公的施設の紹介

宮前区

菅生分館(宮前市民館分館)

東急田園都市線「宮前平」駅・「溝の口」駅、JR南武線・「武蔵溝ノ口」駅
小田急線「登戸」・「向ヶ丘遊園」駅からバス TEL 044-977-4781

様々な活動が行なえる施設

菅生分館は宮前市民館の分館として、1987(S62)年にオープンしました。菅生分館では、地域の学びの場づくりをする社会教育施設として、家庭・地域教育学級、男女平等推進学習、シニアの社会参加支援事業等といった主催事業や市民と協働して企画・運営する市民自主学級、市民自主企画事業を開催するほか、市民の自主的な活動の支援のため、会場貸し出しも行っていきます。ロビーには図書コーナーを設置し(貸出可)、子育て支援をはじめ、ダンス、卓球、音楽、ボランティアなど様々な市民が施設を利用して活動しています。

毎年6月には分館利用者懇談会主催による「菅生分館まつり」が開催され、分館利用者・サークルと地域のみなさんを結ぶ活動を行っています。

市民による市民のための事業

- ◆親子でほっと子育て講座 9/12~11/7(毎火)10:00~12:00
- ◆ミルク&カフェすがお 毎週土曜11:00~14:00
- ◆おしゃべりサロンすがお 毎月第4木曜日
- ◆認知症の人を地域で支えるために11/18(土)12/15(金) 13:30~15:30
- ◆障がい者の自立に向けた相互学習会 7/11(火)13:30~15:30(実施済)
- ◆利用時間 9:00~21:00
※休館日:毎月第3月曜日(国民の祝日の場合は翌日)
年末年始・施設点検日



▲ 菅生分館

中原区

とどろきアリーナ

JR南武線「武蔵中原」駅下車 徒歩15分
JR南武線・東急東横線「武蔵小杉」駅からバス TEL 044-798-5000

スポーツ・文化の拠点

とどろきアリーナは1995(H7)年に等々力緑地内にオープンしました。メインアリーナとサブアリーナの二つの施設からなり、メインアリーナは最大6,500席収容でき、国際規模の公式競技会・音楽・集会・式典・展示会等、全国有数の規模を誇る多目的ホールです。サブアリーナは市民のスポーツ施設として利用でき、体育室1・2,研修室1・2,トレーニング室,プレイルーム,スポーツサウナ,情報サロン等も利用できます。

注目のイベントを開催

- ・2009(H21)年より毎年2月「川崎国際環境技術展」開催。
- ・2016(H28)年より4月に「大相撲川崎場所」を開催。
- ・2016(H28)年秋に開幕したプロバスケットボールリーグ川崎ブレイブサンダースの本拠地として、多くの市民ファンとともに活気をもたらしています。

◆利用時間

午前: 9:00~12:00 (開館8:30~)
午後1: 12:10~15:10
午後2: 15:20~18:20
夜間: 18:30~21:30 (21:30閉館・消灯)
※休館日: 毎月第4月曜日(祝祭日は翌日)
年末年始、館が定めた日



▲ メインアリーナ



▲ サブアリーナ

高津区

川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)

JR南武線「武蔵溝ノ口」駅・東急田園都市線「溝の口」駅より徒歩10分 TEL 044-813-0808

男女共同参画を推進する活動拠点

◆5つの主な事業

川崎市の男女平等施策の推進拠点として、次の事業を行っています。

- ①調査研究事業 男女共同参画推進の課題やニーズを把握
- ②相談事業 男女それぞれの悩み・課題解決の支援
- ③情報提供事業 男女共同参画に関する情報収集・発信
- ④学習研修事業 男女共同参画に関する講座やイベントを開催
- ⑤交流・ネットワーク事業 多様な担い手と連携した新しい事業の展開



◆利用施設

ホール(850名)、第1・2楽屋(各7名)、第1・2・3研修室(各18名)(第3はPC常設)・第4研修室(15名)、会議室(18名)、多目的室(50名)

◆利用時間

午前(9:00~12:00) 午後(13:00~17:00)
夜間(18:00~21:30) 全日(9:00~21:30)

センター発行物 ◆役立つ刊行物を多数発行 ・パパ向け小冊子「ちちしるべ」

- ・川崎市におけるDVの現状と市民の認識・シングルファーザー事例集「みんなどうしてる?」
- ・すくらむ通信・ブックインフォメーション・男女共同参画の視点での防災関連冊子等、多数発行。



施設利用について 上記3施設は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)で予約できます。